

1.

北摂の山 大峰山へ 桜とツツジを訪ねて 20004.4.12.



武田尾 武庫川沿いに旧福知山線廃線跡から桜の園・大峰山へ



桜満開の4月12日

一度訪れてみたいと思っていた桜博士 笹部氏の桜の演習林 武田尾「桜の園」。

思い立って、家内と二人 武田尾・武庫川沿いの旧福知山線廃線跡を通過して、大峰山の山の斜面に広がる「桜の園」から北摂の大峰山へハイキング。

山は芽吹き・新緑の季節 山裾では山の斜面に淡い緑と桜の花が重なり、また、山道には「ミツバツツジ」が桃色の花をつけて山の匂いプンプンの気持ちの良いハイク。

桜はしだれの巨樹の素晴らしさに眼を奪われた事もありましたが、今回は芽吹き淡い緑の山中で織り成す桜の素晴らしさに見とれました。



山の匂いを一番感じる good な時 里山のよさを満喫してきました。

武田尾・生瀬は昔阪神間の子供が遠足で武庫川の川原へ行ったことのある場所。

また、夏にはキャンプ・水泳にと 私も子供の時何度となく行きました。

今はもうすっかり武庫川沿いも変わって・・・

山へかかる宝塚・生瀬・名塩は山もすっかり住宅地になっています。

生瀬などウイルキンソン炭酸水工場のところから歩いて 川原に降りてその上の淵で泳いで・・・といっても全く信用してもらえませぬ・・・

生瀬から奥は武庫川の渓谷で両側から山が迫り、そこを走る福知山線も川沿いを幾つものトンネルを抜けて三田の盆地に入る。武田尾はその真っ只中にある温泉で川沿いには鉄道だけしかなく、川沿いには行けず、山を回って北から山を降りてこの小さな集落に入る。

もうビックリしたのですが、この状態は今も同じで、武田尾には北の幹線道路からやと車がすれ違える道を下って入る。

でも このため、都会のすぐ傍で有りながら、本当に静かな里山と川の景色がそのまま残っています。

10年ばかり前に福知山線の複線電化で、この武庫川渓谷沿いの難所を生瀬から山をくりぬいてトンネル一本で直接武田尾に抜ける。そこからまたトンネルで三田へ抜ける新福知山線が開通。

旧線路が廃線となり、その一部を通るコースが宝塚のハイキングコースとして整備されました。

大峰山山腹が笹部桜博士の桜演習林で、笹部博士没後、随分荒れていたようですが、ハイキングコースの一部として整備がすすみ、数年前に「桜の園」として開放。其の中をとおつて、大峰山・中山を通して能勢の山々に抜ける北摂の山の縦走路が整備されました。

ちょうど大阪平野の北西の山裾で六甲と北摂の山々の間から武庫川が宝塚で流れ出る。

武庫川の大阪湾への出口尼崎で生まれた僕には小さい頃から良く知っている思い出一杯の懐かしい場所です。でも ちょと不便で 最近は出かけたことが有りませんでした。



武田尾と大峰山周辺の地図



4月12日 平日の晴天 神戸の自宅から三田へでて、武庫川を渡って北から山を越えて武庫川渓谷の武田尾まで降りてくる。車で、約1.5時間程である。

朝早くでてきたので、歩いているのはほんの数組。街からほんの直ぐの位置なのですが、街の喧騒からは完全に遮断され、両側を山で隔られた狭い渓谷の中に自然一杯の小さな集落武田尾。福知山線が武田尾駅の手前でトンネルから顔を出し、またトンネルへ消えてゆく。

その川岸の山裾にへばりついて旧福知山線の線路跡が続いて.旧の駅前周辺が細長い駐車場になっていて、この下の武庫川との間の狭い場所に武田尾の集落がひっそり収まっている。
武田尾温泉は川の南側の川沿いの小さな枝谷に数軒の旅館が納まっている。



武田尾 旧福知山線 廃線跡 大峰山山腹「桜の園」周辺 2004.4.12.

桜満開の木々と数十軒の家並とあとは中央に流れる武庫川の流れと芽吹き of 淡い緑に包まれた山があるだけ、本当に静かな山里である。駅前の駐車場に車を置き、直ぐ横から廃線跡を歩き出す。

木々の緑を浴びながらいろんなことを思い出しながら、武庫川沿いを芽吹き of 山腹にへばりついて伸びる廃線跡をあっちをみたりこっちを見たり、振り返ったり、トンネルも潜って・・・。

廃線跡を少し南へ歩くと廃線に添う川と山をバックに山腹一面に広がる素晴らしい桜の景色が見えてくる。



武田尾 旧福知山線 廃線跡より 大峰山山腹「桜の園」を眺める 2004.4.12.

そこが「桜の園」で廃線跡を離れ、水上勉「桜守」のモデル「荘川桜」など各地の桜の指導で有名な桜博士 笹部さんの桜演習林の中、素晴らしい桜を眺めながら大峰山の山腹を登ってゆく。

本当にみごとな桜である。

廃線跡に大峰山の枝谷が流れ込むところに「桜の園」の案内マップ・標識と左手山の方に桜の園へ遊歩道があり、廃線跡はさらに川沿いを宝塚の方へ続いている。

「桜の園」の遊歩道に入るとこの狭い谷が桜の園で、狭い谷を一周できるように山腹に遊歩道があり、左の谷北側に満開の桜の林が見える。

この桜の林を抜けたところから、遊歩道と別れてさらに上へ登る大峰山への山道がついている。



武田尾 武庫川沿い 大峰山山腹「桜の園」 笹部博士の桜 2004.4.12.



桜の林を抜けるとそこから、よく整備された登山道が上へ上へと続く。

芽吹いた若葉の淡いみどりが、まるで匂うがごとく……である。

5月の季語に「風 ひかる」があるが、きっさこんなところを吹き抜ける新鮮な風をいうのだろう。ずっと林の中であるが、木々の間から武庫川や向かいの山の緑が気持ちよい。

また、道のあちこちにミツバツツジが花を咲かせている。

桜とミツバツツジと 意図したとおり、同時に見れて、ラッキーです。

ちょっと早いのですが、枯れた花がついていないので、よけいに鮮やか。家内がいうにはツツジは花が落ちずについたままでかれるので満開を過ぎるときたなくなるので、咲き始めのほうがきれいだと。。。



大峰山であったミツバツツジ 2004.4.12.

幾つかのこぶを越えて約1時間ほどで552m 大峰山の頂上。誰もいないひっそりとした林に囲まれた中に大峰山頂上の標識が木にしばられていた。

すべてまっすぐに立った灌木が重なってまるでモニュメントのごとくこの頂上を取り囲み、いていつも見る山の林とはちがった光景で美しい。視界は開けないが、南に木々の間から六甲の連山が見える。



すっとまっすぐに立並ぶ灌木に囲まれた大峰山頂上とその付近より南六甲連山を望む

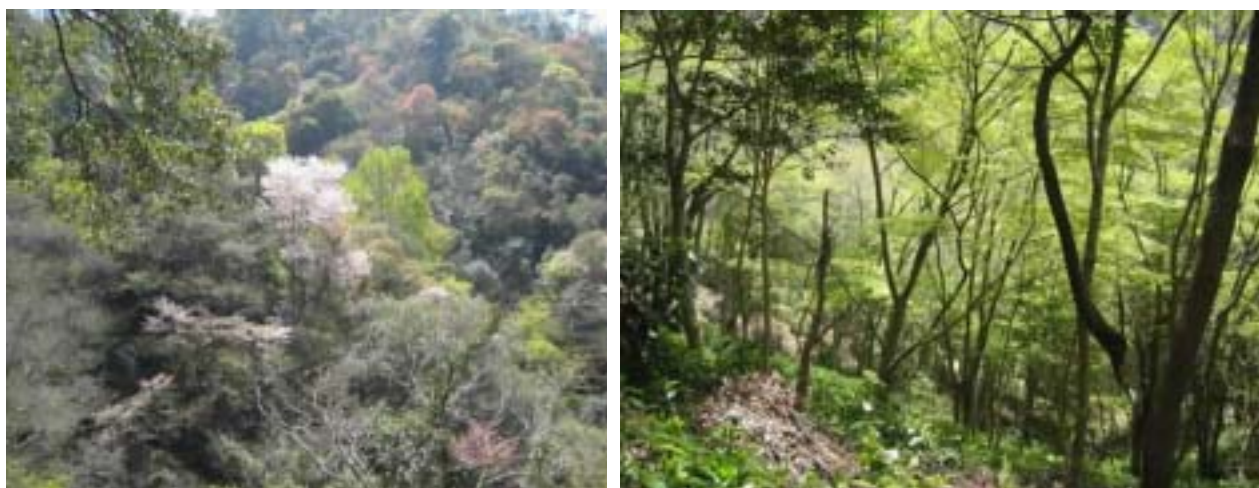
頂上からは、さらに東へ中山から能勢へと道が続いているが、やっぱり視界は開けないと聞いて、頂上からもときた道を引き返す。

桜の園の上で滝道にでて、滝を見ながら昼食して武田尾温泉に入ってゆったりする予定。

昔はこの先も惣河谷・中山と随分奥深いと思いましたが、今は住宅地がせまり、気楽に歩けそう。毎月川西へ縄文の会で通っている間に一度朝早く出て、川西池田万願寺から北摂連山を武田尾までやってみよう。



ミツバツツジ 大峰山 登山道で



大峰山 「桜の園」滝道で 2004.4.12.



帰路の午後 違った表情を見せる「桜の園」桜道 2004.4.12.

小さい時 ハイキング・キャンプ

そして煙を吐く汽車の窓から窓を開け閉めしながら見た武庫川渓谷

そのイメージに浸りながらの本当に何十年ぶりかの武田尾。

笹部桜博士が精魂込めた桜 聞いてはいましたが、やっぱり山の中に調和するのが一番。

静かな落ち着いた芽吹きの家 本当に素晴らしい里山のハイキングでした。

by M. Nakanishi 2004.5.1.